

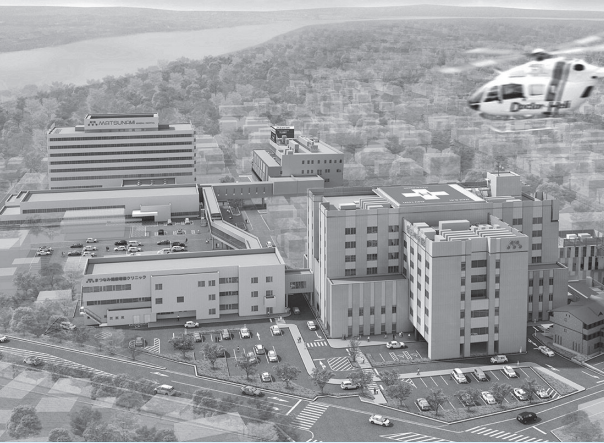
社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院

病院の概要

開設時期：明治35年
開設者：社会医療法人蘇西厚生会 理事長 松波 英寿
院長名：松波和寿
病床数：501床
標榜科：内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液・腫瘍内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、脳神経内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、肛門科、整形外科、脳神経外科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、リウマチ科、小児科、皮膚科、麻酔科、精神科、救急科、歯科口腔外科、移植外科、臨床検査科

医師数：175名
指導医師数：70名（臨床研修指導医講習会修了者数）
外来患者数：約580名／日（まっなみ健康増進クリニックと合計して約900名／日）

入院患者数：470名／日
所在地：羽島郡笠松町田代185-1
URL：https://www.matsunami-hsp.or.jp/



病院の特徴

愛知県と川を挟んだ岐阜県南部に位置して、名古屋駅までは最寄り駅から30分の距離です。病床数は501床で、地域の急性期医療から在宅医療までを担っております。病院としては、北館、南館、東館、西館（令和7年6月OPEN）から成り立ち、北館の機能として一般病床に加えて手術室8室（内1室はハイブリット手術室）、ICU8床、ECU20床などの高度急性期医療の施設やダヴィンチ、ANSWERをはじめとする最新鋭の医療機器、ヘリポートを整備しています。通常の高度な医療のみならず、救急医療や災害医療にも迅速に対応出来る体制を確立しています。2025年4月に救命救急センターの指定を受けました。南館は、比較的長期の医療を担う一般病棟、回復期リハビリ病棟、地域包括ケア病棟、障害者病棟を有し、急性期以外の医療、外来機能としては、人工透析センター、ペインクリニック、訪問診療を有しております。

院長メッセージ



松波和寿

当院は岐阜市南部に近接し、病床数501床、診療科32科を有する地域中核病院です。令和7年4月に救命救急センターの認可を受け、令和7年6月に西館がオープンし、最新の放射線治療機器ラディザクトの導入、新医局、健診センターが移転しました。

安全で質の高い医療を提供する事をモットーとし、種々の急性期医療を重点的に担っており、年間手術約4,600件、救急車搬送患者約4,400件の実績があります。各分野の専門医が多く、新専門医制度では、内科・外科・産婦人科・麻酔科・総合診療・救急科・形成外科において基幹施設となり、2027年度は病理において基幹施設となる予定です。

Subspecialty学会（日本消化器病学会、日本循環器学会、日本呼吸器学会等）、他領域横断的関連学会（日本超音波医学会、集中治療学会等）等の約40医学会の専門医研修施設認定病院となっております。平成16年より厚生省（当時）の卒後臨床研修病院であり、これまで全国から多くの研修医を受け入れてきました。また、平成20年3月から卒後臨床研修評価機構（JCPEP）の基準を満たした研修病院として認定されています。2018年2月に最高ランクのエクセレント賞を岐阜県内初受賞。2023年の2期連続でエクセレント賞を受賞しました。初期研修医にとってはプライマリ・ケアから専門医療まで十分満足のいく研修体制をとっている病院であると自負しております。是非当院で卒後臨床研修を受けてみてください。

指導医メッセージ

初期研修は、その医師の生涯にわたる診療姿勢を決定する上で重要です。患者とその家族に全人的な対応ができる医師となるために、自分は何をしたらいいのかを、毎日の多忙な日々の中から見つけていただきたい。医療にはさまざまな問題が山積みされています。最先端医療も大切です、末期医療、療養医療も大切です。医学部在籍中には、十分経験することができなかった多くの切実な問題に直接ぶつかり、現在の医療に対する問題点を十分考えていただきたい。「走りながら考える」、まさしくこの言葉通りに臨床研修を意義あるものにしていただきたいと願っています。

当院の臨床研修の特徴は、501床の急性期病院で常勤医175名、うち指導医70名の構成でありながら、研修医定員が各学年12名と少なく屋根瓦方式やマンツーマンによる研修が行えることです。地域完結型医療をめざし、地域連携医と一緒に地域診療ネットワークをつくり、連携パスのもと、急性期医療、介護医療を行っています、当院での初期研修システムもこのなかに組み込まれ、現実に即したプライマリケアができる医師の養成をめざしています。

研修医メッセージ

当院での研修の魅力の一つとして、充実かつ自由度の高い研修プログラムがあります。1年次ではさまざまな研修が出来ます。2年次は比較的自由な選択が出来るため、後期研修を見据えたスケジュールを立てることも可能です。少人数の研修医であるため手厚い指導を受けられます。さらに、医局と研修医室が一体であり、休憩時間にも先生方と気軽に話し合うことも出来ます。

また、毎週火曜～金曜の早朝に研修医のための朝カンファレンスがあるのも当院の魅力です。症例プレゼンや論文発表を研修医が行い、先生方からアドバイスをいただけます。

私は当院で研修して1年経ちますが、素晴らしい研修を受けていると実感しています。そんな研修を受けてみたいと感じたあなた、気軽に病院見学にお越し下さい！

研修スケジュール

	1クール	2クール	3クール	4クール	5クール	6クール	7クール	8クール	9クール	10クール	11クール	12クール	13クール
1年次	選択必修	自由選択	内科						救急		麻酔		外科
2年次	産婦	小児	地域	精神	救急	自由選択							

※1クール4週間

※3クール目から、内科、小児科、地域ローテート時に一般外来件研修実施

研修協力病院・施設

岐阜南病院（精神科）
岐阜県総合医療センター（小児科）
まっなみ健康増進クリニック（地域医療）
医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック（地域医療）
美濃市立美濃病院（地域医療）
県北西部地域医療センター 国保白鳥病院（地域医療）
県北西部地域医療センター 国保和良診療所（地域医療）
県北西部地域医療センター 白川村国民健康保険白川診療所（地域医療）

岐阜病院（精神科）
岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター（整形外科）
社会医療法人白鳳会 鷺見病院（地域医療）
郡上市民病院（地域医療）
海津市医師会病院（地域医療）
県北西部地域医療センター 国保高鷲診療所（地域医療）
県北西部地域医療センター 高山市国保荘川診療所（地域医療）

後期研修・専門研修（予定）

松波総合病院では8領域（内科・外科・麻酔科・産婦人科・救急・形成外科・総合診療・病理）の専門研修プログラムで基幹施設となっており、初期研修に引き続き専門研修可能。その他の診療科については14領域の他基幹施設プログラムの連携施設となっております。

専門領域	内科	外科	脳神経外科	形成外科	麻酔科	病理	放射線科	小児科	産婦人科
指導医数	31	9	3	1	9	2	4	3	5
基幹施設	●	●		●	●	●			●
連携施設	▲	▲	▲	▲	▲		▲	▲	▲

救急科	耳鼻咽喉科	総合診療科	眼科	精神科	泌尿器科	整形外科	リハビリ	皮膚科
4	2	3	1	1	1	4	1	1
●		●						
▲	▲	▲	▲		▲	▲		

【連携プログラム一覧】※他基幹施設基幹プログラムで当院が連携施設となっているプログラム

専門領域	基幹施設	専門領域	基幹施設	専門領域	基幹施設
内科	岐阜大学病院、岐阜市民病院、岐阜県総合医療センター、中部国際医療センター、高山赤十字病院、飯塚病院、大雄会病院	産婦人科	岐阜大学病院	放射線科	岐阜大学病院
外科	岐阜大学病院	小児科	岐阜大学病院	救急科	岐阜大学病院
脳神経外科	岐阜大学病院	眼科	岐阜大学病院	麻酔科	岐阜大学病院、中部国際医療センター、中濃厚生病院
形成外科	信州大学病院	耳鼻咽喉科	岐阜大学病院	総合診療科	岐阜大学病院、国保白鳥病院、関中央病院、飛騨市民病院
整形外科	岐阜大学病院、岐阜県総合医療センター	泌尿器科	岐阜大学病院		

研修プログラムの目標

医師が、医師としての人格を涵養し、常に患者を思いやる気持ちを持ち、将来専門とする分野に関わらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応出来るよう、基本的な診療能力（態度・技術・知識）を身につけることを目標としています。

募集要項

応募資格：令和10年3月に医師免許を取得見込みの方、
医師免許取得済で初期臨床研修を開始していない方

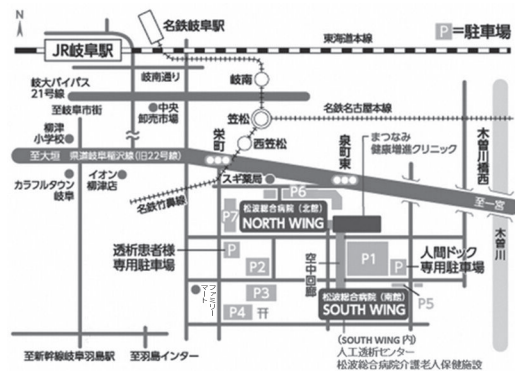
募集人員：13名（予定）
身分：常勤
給与：（1年次）551,666円／月・（2年次）595,000円／月、（賞与1年次810,000円、2年次1,080,000円）日勤手当（土日祝日）・夜勤手当・時間外手当 他

住居等：単身用あり、住宅手当あり
保険等：政府管掌健康保険、厚生年金、労災保険
医師賠償責任保険：病院にて加入、任意で個人加入

連絡先

担当者：臨床研修医室 林 幸太郎（ハヤシ コウタロウ）
電話番号：058-388-0111
fax：058-388-4711
E-mail：kotarohayashi1115@gmail.com

交通案内



名鉄竹鼻線 西笠松駅から徒歩10分